

平成28年度第4回東海市地域公共交通会議 会議録

- 会議の名称 平成28年度第4回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 平成29年2月17日（金）午後1時30分から午後3時まで
- 開催場所 東海市役所 302会議室（3階）
- 出席委員 近藤福一（会長）、渡邊元芳（副会長）、嶋田喜昭（議長）、勝田厚秀、古田寛、藤田重記、大脇美一、齋藤信弥、清信裕、片桐眞砂子、上尾将文、大里美栄子、片山雄介、伊知地知子、堀越正一、平木壽一、山田浩、杉本忠久、守山睦、森田英二
- その他 山田継昭（名古屋鉄道株式会社）、稲野勝（知多つばめタクシー）
石屋義道（愛知県振興部）
- 欠席委員 井上莊之助、脇田英生
- 事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任
- 傍聴者の数 なし

○ 議題及び審議の概要

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ

皆様、こんにちは。

会長を仰せつかっております、東海市副市長の近藤でございます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃は、市政各般に渡りまして、ご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、委員の皆様におかれましてはこの2年間、東海市地域公共交通網基本構想・形成計画の策定と推進、また、循環バスの利用促進等につきましてさまざまな角度から地域公共交通の課題等の改善や解決に向けた多くの建設的なご意見を賜り、誠にありがとうございます。この3月をもって任期満了を迎えられますが、今後もそれぞれのお立場から東海市の公共交通のあり方や改善についてご協力をお願いいたします。

終わりに、当交通会議の円滑な運営に対し、御協力をお願い申し上げまして、

簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

3 報告事項

(1) 前回の会議録の確認について及び

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2、資料3の説明

(議長)

1月14日、15日の雪の影響はどの程度あったか。

(事務局)

15日の第2便が運休となった。それ以降の便については運行を行っている。

(議長)

本来であれば、雪の日こそ運行を行ってもらいたい願いがある。

(事務局)

道路状況や安全性を考慮すると、やむを得ない結果だと考えている。

(委員)

雪により運行を取りやめる基準はあるのか。

(委員)

運行事業者として、雪によりバスが走行できないということはない。一般車両の状況により時間どおりに運行できない、たどり着けないといった点で運行ができず、他の車両による道路支障によるものである。車両、装備に関しては支障なく対応ができる。

(議長)

大学入試センター試験日であったが、問題なかったか。

(委員)

鉄道は遅れながらも運行しており、輸送は確保されていた。

(委員)

利用者は増加しており好ましい状況であるが、高齢者の無料化によって回数券売上が落ち込み収入は減っている。しかし、外出促進・健康増進につながり医療費が減っているといった様なデータがあると、市の財政が転換されていることがわかりやすくなるのではないか。

(会長)

おっしゃる通りである。健康づくりの観点からも、市としてデータを収集している。今後データの開示ができればと考えている。

(3) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価について

事務局による資料4の説明

(委員)

今回初めて第三者評価委員会が公開開催された。公共交通に関心を持ってもらいたいとの思いからである。東海市の評価について、取組みに対しては高い評価を得ていたと認識している。ただ、表記の仕方について、もっとアピールする箇所があるのではないかと話があった。記載がなく補足説明を行った部分を記載すべきとのことであった。市民目線でわかりやすい内容を求められていた。今後、運輸局としても助言内容に注意を払っていく所存である。

(議長)

資料に利用者数の伸びを示すグラフ等、インパクトのある表を追加すると良かった。

(4) OD調査等の結果について

事務局による資料5、資料6、資料7及び資料8の説明

(委員)

年齢階層別利用者の平日・休日を比較すると、休日の20代未満の利用が多くなっているが、何か要因があるのか。

(事務局)

小学生以下の利用者が多くなっていると分析している。

(委員)

8便の利用者が極端に少ないが、どのように見ているか。また、遅延状況について、課題区間として挙げられている箇所の選定理由はどのようなものであるか。

(事務局)

2年前に夜間運行調査を行ったが、最終便の需要が見込めないといった結果が出ている。また、運行区間が短く終着点が車庫に設定していることも利用者が少ない要因と考えている。また、遅延状況の課題区間として挙げている地点は、前回調査時点から遅延状況が悪化している地点である。

(議長)

混雑する信号交差点によるものであれば、交通量等を調査し信号機のスパンを変更することも検討が必要である。

(委員)

何度か乗車したが、同じ区間で遅延が発生していた。交通事情もあるとは思いますが、何か原因があるのか。

(事務局)

今後も定時運行の調査を行っていく。75歳以上無料化の開始に伴いルートや区間によってはバス停毎に停車している状況であり、定時運行に影響していると考えている。

(委員)

車内ディスプレイの表示が正しくなされておらず、乗務員に尋ねたら度々不具合があるとのことであった。

(委員)

車両を管理する立場として、不具合状況を確認し報告を行います。

(委員)

路線バスの利用状況に関して、朝夕の時間帯と昼間時間帯を分けた利用状況が示されると議論の俎上に挙げやすいのではないかと。

5 協議事項

(1) 東海市公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料9の説明

(委員)

上野中学校前(東側)の停留所については、老朽化が進んでいたため昨年度末に撤去いただいた。福祉施設の利用者が帰宅の際にこのバス停を利用しており、特に夏場は炎天下の中でバスの到着を待っていると実情があるため、可能な限り配慮いただけたらと思う。

(会長)

今回提示された場所は、上屋等を設置する際に歩道幅や道路構造・隣接地等、法的な規制をクリアできる前提と理解してよいのか。

(事務局)

上野中学校前(東側)に関しては、以前も上屋が設置されていたため問題ないと考えている。その他の場所についても設置できるように検討していく。

(会長)

手をつけられる所から進めていく考えか。

(事務局)

今回挙げたバス停に設置順位をつけ、順に検討していく予定である。

(会長)

法的な面や費用も含め、実際に設置が可能かどうかわからないと順位付けをすることができないため、次回の会議までに精査できないか。

(事務局)

精査を行った上で、次回以降の会議で再度提案させていただく。

(議長)

広告掲載料について、他市の状況はどうか。

(事務局)

近隣市町では、一月あたり1,000円程度の金額で行っているが、応募が少なく苦戦していると聞いている。当市においては1ルート2車両のため2,000円/月を予定している。

(議長)

掲載料を高く設定して応募がなくては意味がないので、予定している近隣市町同様の金額で始めてみてはどうか。

議長による承認採決

(一同)

承認

(2) 平成29年度東海市地域公共交通会議予算(案)について

事務局による資料10の説明

議長による承認採決

(一同)

承認

6 その他

(1) 東海市循環バス利用者300万人突破報告について

事務局より説明。平成28年8月に東海市循環バス利用者が300万人を突破したもの。300万人突破ではイベント等は行わず、500万人突破時に行う予定をしているもの。

(2) 東海市循環バスへのドライブレコーダー登載について

事務局より説明。循環バスの前方及び車内を撮影できるドライブレコーダーを全車に登載した。事故発生時の対応だけでなく、乗務員の技術向上や車内状況調査に活用できるのではと考えている。

(3) 循環バス蟹田（ルピナ東）バス停について

事務局より説明。今年度末に福祉施設ルピナが事業終了するため、バス停名及び車内放送等に相違が生じるが、当分の間は現在の名称を継続し、時刻表の刷新等のタイミングで括弧書きをなくした名称に変更していく予定である。

(4) 愛知県による当日配布資料の説明

7 閉会のことば